

当院にて皮膚生検を受け、悪性黒色腫または良性色素細胞性母斑と診断された
患者さんへ

(1) 承認番号：M2016-046 番

(2) 研究課題名：掌蹠における悪性黒色腫と良性色素細胞性母斑の鑑別に関する研究

(3) 研究責任者：東京科学大学病院 皮膚科 准教授 並木 剛

(4) 研究期間：平成 28 年 4 月 1 日から 2030 年 12 月 31 日

(5) 研究の概要：

掌蹠の悪性黒色腫と良性色素細胞性母斑は見分けることが難しいことがあり、色素細胞のマーカーである MART1 と細胞増殖のマーカーである MCM2 の汗腺導管部における発現の違いが鑑別に有用である結果を得ています。本研究では、診療上必要であって採取された皮膚生検病理組織像を解析することで、その有用性を確認することを目的とします。

(6) 対象となる方：

当院にて皮膚生検を受け、悪性黒色腫または良性色素細胞性母斑と診断された患者さん

(7) 研究の方法：既存の悪性黒色腫および良性色素細胞性母斑のパラフィン検体を用いて免疫染色を行います。既存の試料を用いるため特にこの研究のために患者さんをお願いすることはありません。また研究に必要な診療情報を用います。

(7) 共同研究施設、検体・データ送付先

本研究は本学が主要な研究機関になりますが、一部の実験や解析を東京大学医科学研究所との共同研究として実施します。また本研究実施期間内にパラフィン検体を東京大学医科学研究所に送付し遺伝子発現解析およびオミックス解析を行います。研究実施許可日より提供開始予定です。

(8) 研究に同意されない場合

本研究に同意するかどうかは患者さんの自由意思になります。また研究に参加されなくても不利益を生じるようなことはありません。このポスター掲示にて同意を得たとさせていただきますので、同意されない方は、下記までご連絡ください。

(9) 匿名化の方法、研究公表時の匿名性

個々の患者さんの個人情報や識別コードを用いて匿名化し、研究公表時も患者さんの人権及びプライバシーの保護について十分配慮します。

(10) 利益相反について

実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状態に関する申告を行い、同委員会による確認を受け患者さんに不利益が及ぶこと、また研究の公平性に悪影響が及ぶおそれはないと判断されています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

(11) 連絡先

東京科学大学病院 皮膚科 准教授 並木 剛

所在地：東京都文京区湯島 1-5-45

電話番号（直通）：03-5803-5282

FAX：03-5803-5289

対応可能時間帯：平日 9:00～17:00

(12) 苦情などの窓口

東京科学大学研究推進部研究基盤推進課生命倫理グループ（

Tel：03-5803-4547

対応可能時間帯（平日 9：00～17：00）